



# 地域との協働を通じたデジタルイノベーション創出人材の育成

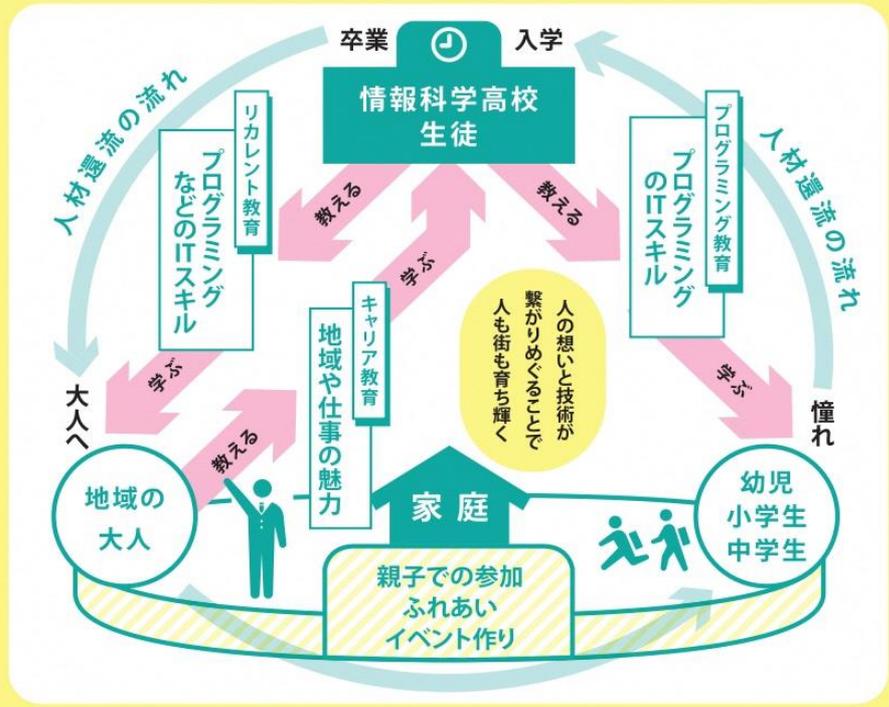
## 研究開発の背景



## 研究開発の実施体制



## コンソーシアムが目指す人材還流



部会	令和2年度の目標	取組状況	成果と課題
IT Kids 安来部会	安来市教育委員会と連携し、市内の小中学生に対するプログラミング教育を実施。生徒は小中学生に教える活動を通して、主体性、協働性、自己有用感を高める。	・情報科学高校で遊ぶ学ぼう講座を5回実施 ・小学校教員向けプログラミング研修の実施 ・小中学校への出張講座 ・小学生のウェルカム講座	【成果】コロナ対策をしながら6回実施できた。中学生の参加が増加した。リピーター7割超え実現。生徒の自己有用感向上へ。 【課題】指導にあたる生徒が限定的。
IT City 安来部会	安来市商工観光課や地元企業と連携し、地域産業活性に資する取り組みや、市内の一般の方を対象とし、ITスキルを活かした地域貢献活動を行い、主体性・協働性・創造性を高める。	・第5回情報ITフェアを初めてオンライン開催 ・課題研究「観光ビジネス班」の多彩な活動(地元飲食店応援のスマホアプリ開発、地元スーパーのドライブスルーサービス、お米を観光情報と共にPR、販売促進)	【成果】コロナに対応した新サービスの展開、オンライン開催に挑戦。 【課題】地域との協働の機会、生徒の達成感が昨年度に比べて低下した。
カリキュラム開発部会	R3年度入学生から履修する「地域探究基礎」「地域探究応用」の学習計画を立て、校内で共有する。	カリキュラム開発等専門家と交えて協議を重ね、地域探究基礎の内容が完成した。今後、地域探究応用とキャリア基礎の内容の詳細について検討する。	【成果】教科主任会と連携しながらカリキュラム開発できた。 【課題】探究応用、課題研究との接続。
上記部会を支える活動	・BYODのためのデバイスと学習アプリの選定 ・課題研究成果発表会の校外での実施 ・ランドデザインの構築	・BYODに向けてデジタルイノベーションプロジェクト委員会にて協議、校内で合意、共有できた。 ・安来市民文化ホールでの課題研究発表会を初開催。 ・ICT活用推進、オンライン授業の試行、Gsuite活用の推進	【成果】本校指定端末としてipad、基礎学力向上用アプリとしてスタサポ選定。 【課題】スマホルールの改定、ランドデザインを教員生徒で共有する